

全国映像祭で奨励賞を受賞 「出稼ぎ」の経験から町民有志で映画を制作

町民有志で制作したドキュメンタリー映画「出稼ぎの時代から」が、全国の優れたドキュメンタリー映像作品などを顕彰する「地方の時代」映像祭の市民・学生・自治体部門において、見事に奨励賞に選ばれました。11月30日には、監督で記録写真の撮影を行った本木勝利さん（山口）と制作委員長の菊地富夫さん（浅立）が役場を訪れ受賞の報告を行いました。

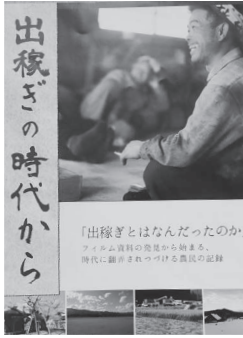


表彰状と楯を掲げる
菊地さん（中央）・本木さん（左）

本映画は、本木さんが1966年当時に出稼ぎ先の

川崎市宮前区などで撮影した写真のスライドや、関係者へのインタビューなどで構成されており、出稼ぎ労働の過酷さ、故郷に残された家族の様子、社会の実情や変化などを20人余りの証言映像で描いた作品となっています。制作資金は町内外100人を超える寄付や町助成金を活用しています。

報告会で菊地さんは、「たくさんの方に賛同していただき、町全体で作り上げたこの映画が、奨励賞という形で評価をいただけたことが誇らしく、大変嬉しいことだ」と語り、本木さんは映画制作を機に実現した、宮前区の人々との交流について、「映画を通してできた交流を大切に、今後も発展させていきたい」と話されました。



出稼ぎの時代から

「出稼ぎとはなんだのか」
フィルム資料館の企画から始まる。
時代に蘇る忘れられた農民の記録

りんごについて知ろう—— りんごの収穫・お菓子作りに挑戦

11月12日、東陽の里づくり協議会学び支援部（橋本忠敬部長）では、「りんごについて知ろう」と題し、収穫から調理までを行う講座を開催しました。

収穫では、㈱アップルサポートの中嶋智一さんが講師を務め、美味しいりんごの特徴や見分け方を解説。りんごを試食し味比べしながら、子どもたちはおいし



多彩なステージで日々の学習成果を披露 白鷹高等専修学校でファッションショーを開催

11月11日に白鷹高等専修学校（梅津和吉校長）で文化祭が開催され、服飾を学ぶ1～3年生までの生徒が自ら手掛けた衣装を披露するファッションショーが行われました。

学年別、テーマ別の2部構成で行われ、今年度から初めてテーマに加えた「紅花」を使った色鮮やかな衣

装、アンティーク調や未来的な印象を感じさせるデザインを披露し、バラエティにとんだファッションショーを展開しました。生徒の皆さんは特設のラウンウェイを堂々と歩きポーズを決めると、会場内からは大きな拍手が送られ、約80人の来場者を楽しませました。



多年にわたり監査事務に尽力 町村監査功労者全国表彰を受賞

このたび、白鷹町監 10月24日に、東
査委員の竹田謙一さん 京都内のLINE CUBE
(荒砥甲)が、令和5 SHIBUYA(渋谷公会
年度町村監査功労者全 堂)にて、全国から約
国表彰を受賞されまし 15000人の監査委
員・監査事務職員のパ
た。

竹田さんは平成28年 加のもと、全国町村監
に委任されて以来、白 査委員協議会(水上雄
鷹町監査委員として町 二会長)より表彰を受
の財務事務や行政事務 けられました。
の執行についての監査 受賞、誠におめでと
にあたっていただいて うございます。
おります。



表彰状を掲げる
竹田監査委員

重度身体障がい者利用施設の 拡充に関する要望書の提出

白鷹町手をつなぐ育 白鷹町手をつなぐ育
成会(金田正子会長) 成会(金田正子会長)
から、重度身体障がい から、重度身体障がい
者利用施設の拡充に関 者利用施設の拡充に関
する要望書が町に提出 する要望書が町に提出
されました。 されました。

障がい者の親である 障がい者の親である
皆さんから、親の高齡 皆さんから、親の高齡
化による在宅生活にお 化による在宅生活にお
ける介護負担の増加、 ける介護負担の増加、
親が亡くなった後の生 親が亡くなった後の生
活支援への懸念といっ 活支援への懸念といっ
た悩みのお話がありま た悩みのお話がありま
した。それらの課題へ した。それらの課題へ
の対策として、医療的 の対策として、医療的
な対応が必要となる障 ない者も利用できるグ
ループホームの確保が ープホームの確保が
要望されました。 要望されました。



要望書を手渡す
左から金田会長、佐藤町長

町の交通事故防止につながるため カーブミラーが贈呈されました

11月9日、山形おき この日は新野俊之山
たま農業協同組合(若 形おきたま農業協同組
林英毅代表理事組合 合白鷹地区理事らが役
長)ならびに全国共済 場を訪れ、出合頭の交
農業協同組合連合会山 通事故防止に役立てて
形県本部(折原敬一運 ほしいと4基を贈呈し
営委員会会長)より、 ていただきました。今
カーブミラーを贈呈い 後、町内の交差点など
ただきました。 に設置する予定です。



新野理事(左)より、田宮副町長(右)にカーブミラーが贈呈されました。

地域おこし協力隊が新たに着任 紅花を活用した商品づくりで地域活性化を目指す

11月24日、新たな地 同日行われた委嘱状
域おこし協力隊として 交付式では、佐藤町長
笹本秋桜さん(埼玉県 から「ふるさと納税の
鴻巣市出身)が着任し 返礼品となるような商
ました。現在十王地区 品開発に期待する」と
の集落支援員として活 激励を受け、笹本さん
動する母の富士子さん は「町民の皆さんと積
の地域おこし協力隊活 極的に交流し、地域の
動の中で、紅花を使っ 力になりたい」と話し
た商品開発に取り組む ました。
姿を見て、自らも挑戦 任期は3年で、主に
してみたいと本町協力 役場企画政策課内で活
隊へ応募されました。 動を行います。



佐藤町長より委嘱状を受け取る笹本協力隊員